

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。
商工中金



2021年12月2日
商工中金

災害発生時に多様な用途に応えられるテントやシートなどを供給する 石川県テントシート工業組合様を金融面からサポート

商工中金は、地方公共団体や関係機関等と連携しながら、災害復旧や地域経済の改善に貢献する中小企業組合等を積極的にサポートしています。

商工中金（金沢支店）は、石川県テントシート工業組合様（本社：石川県金沢市、理事長：西川 雄蔵 様）に対し、災害発生時や備蓄品として必要となるテントなどの応急対策資材の仕入資金枠1億円を開設しました。

同組合は、石川県内のテントやシートの製造、加工、販売業者など12社で構成され、設立以来、組合員の経営安定化や合理化促進を図るための研修事業や先進企業視察を行っています。また、災害に備えて2021年9月に石川県と「災害時におけるテントシート製品の調達等に関する協定」を、金沢市と「災害時における物資の調達等に関する協定」を締結しました。

この協定において、同組合は、大規模災害発生時に石川県・金沢市からの要請により、必要なテントやシート類、避難所でプライバシー確保のための間仕切りなどを、自治体に供給します。

商工中金は、このような災害発生時の取組みが被災地の復興・復旧に貢献するものと考え、同組合が迅速かつ機動的に資金の出し入れができるコミットメントラインを開設し、必要な資金を提供するスキームを構築しました。これにより災害発生時において、テント等の物資を供給する組合員に対し、緊急かつ安定的な資金供給が可能になります。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業・組合の皆様の「SDGs（持続可能開発目標）」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【石川県テントシート工業組合様の概要】

所在地	金沢市入江2丁目29番地
代表者	西川 雄蔵様
出資金	60万円
組合員数	12社（2021年11月現在）
設立	1971年5月



【当組合が設置する産業用テント】